

MCRP 公募から利用開始までの流れ

2025 年 12 月 15 日

プロジェクト代表が実施すること

プロジェクト代表、プロジェクトメンバーが実施すること

公募開始から採択まで

(2-1)

公募開始
(12 月下旬)

学際共同利用申請システム(indico)によるオンライン受け付け

(2-2)

◆プロジェクト代表が行うこと

1. 学際共同利用申請システム(indico)のアカウント取得 ※1,2
2. Pegasus/Sirius 希望者は筑波大学統一認証 ID(UTID-13)の取得 ※3
3. indico 上でプロジェクト申請
4. indico の Member registration から、自身をプロジェクトメンバーとして登録
5. プロジェクトメンバーへ申請 ID(受付番号)とメールアドレスを連絡
6. 全プロジェクトメンバーの登録状況確認

※1 indico のアカウントは1人1つ。2 つ以上取得しないこと。

次年度以降も有効なので、過去に取得した場合はそれを利用すること。

※2 メールを受け取れることが申請の絶対条件。アカウントのメールアドレスが無効になった場合には、My profile からメールアドレスを変更すること。

※3 統一認証 ID は1人1つ。2 つ以上取得しないこと。

次年度以降も有効なので、過去に取得した場合はそれを利用すること。

申請方法はセンターホームページ内、学際共同利用「採択後の手続き」参照。

筑波大学構成員は筑波大学構成員用の統一認証 ID を使用すること。

(2-3)

◆プロジェクトメンバーが行うこと

1. indico の Member registration から、プロジェクトメンバーとして登録 ※4

※4 indico のアカウントおよびログインは不要。

参加プロジェクトの申請 ID(受付番号)とプロジェクト代表メールアドレスが必要。

(2-4)

採択通知
(3 月下旬)

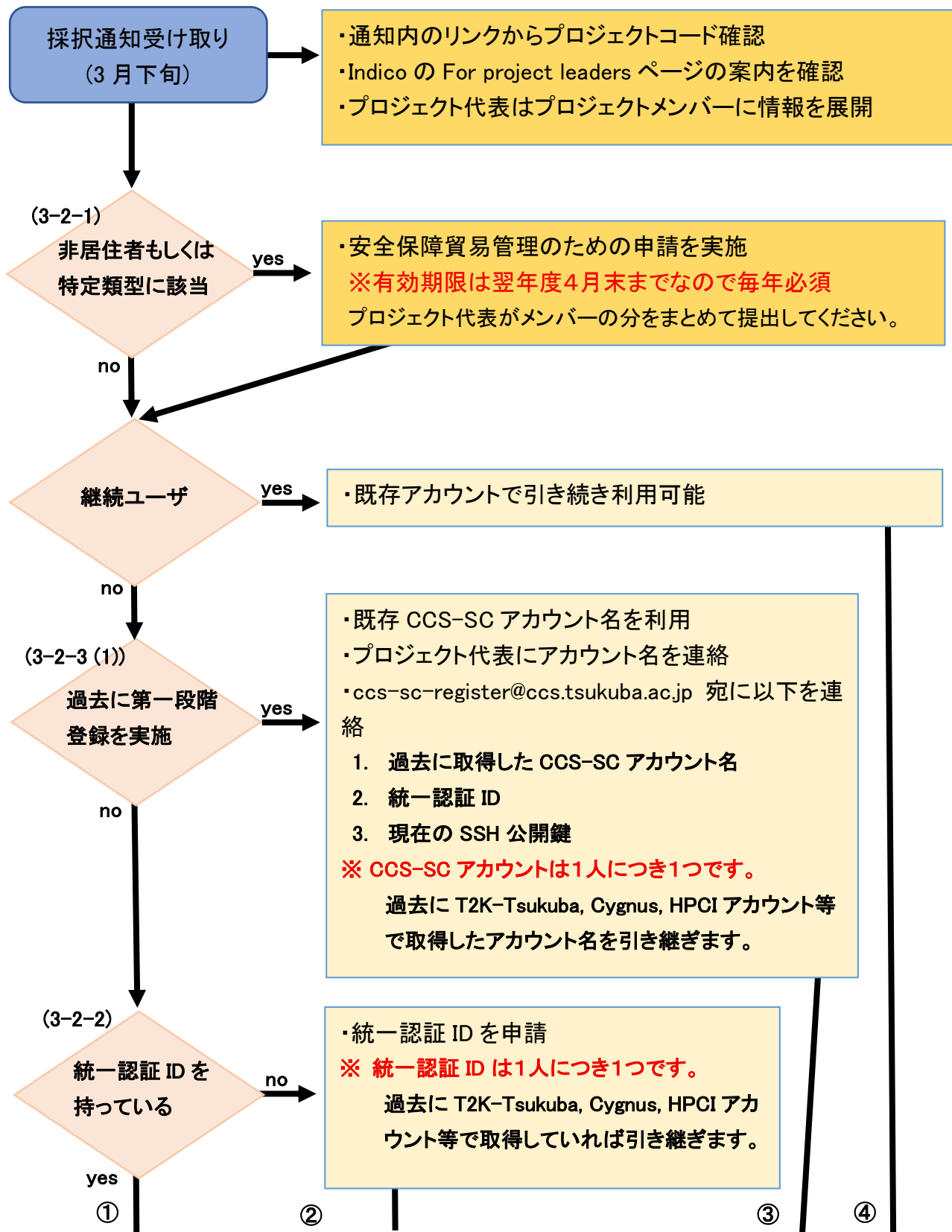
通知内のリンクから採択の成否、プロジェクトコードやバジェットなどを確認。
採択された場合、Indico の For project leaders ページの案内に従って、スパコンアカウント登録に必要な手続きを行う。※5
プロジェクトメンバーにも情報を展開する。

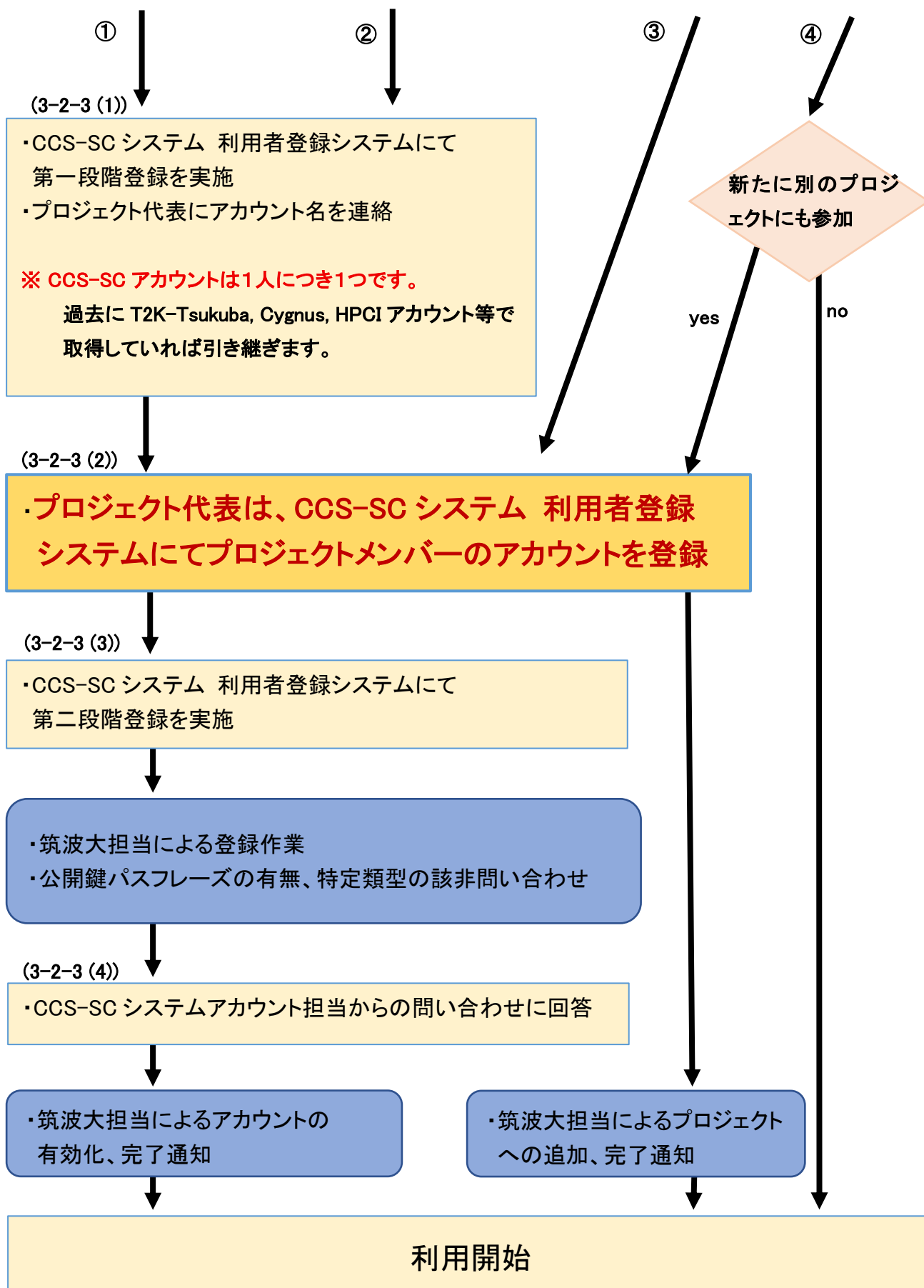
※5 筑波大システムのスパコンアカウントは自動的には発行されません。(継続利用の場合は特殊なケースを除きそのまま利用可能です。)

(3-2)

CCS-SC システムアカウント登録の流れ

(Pegasus システム、Sirius システム)

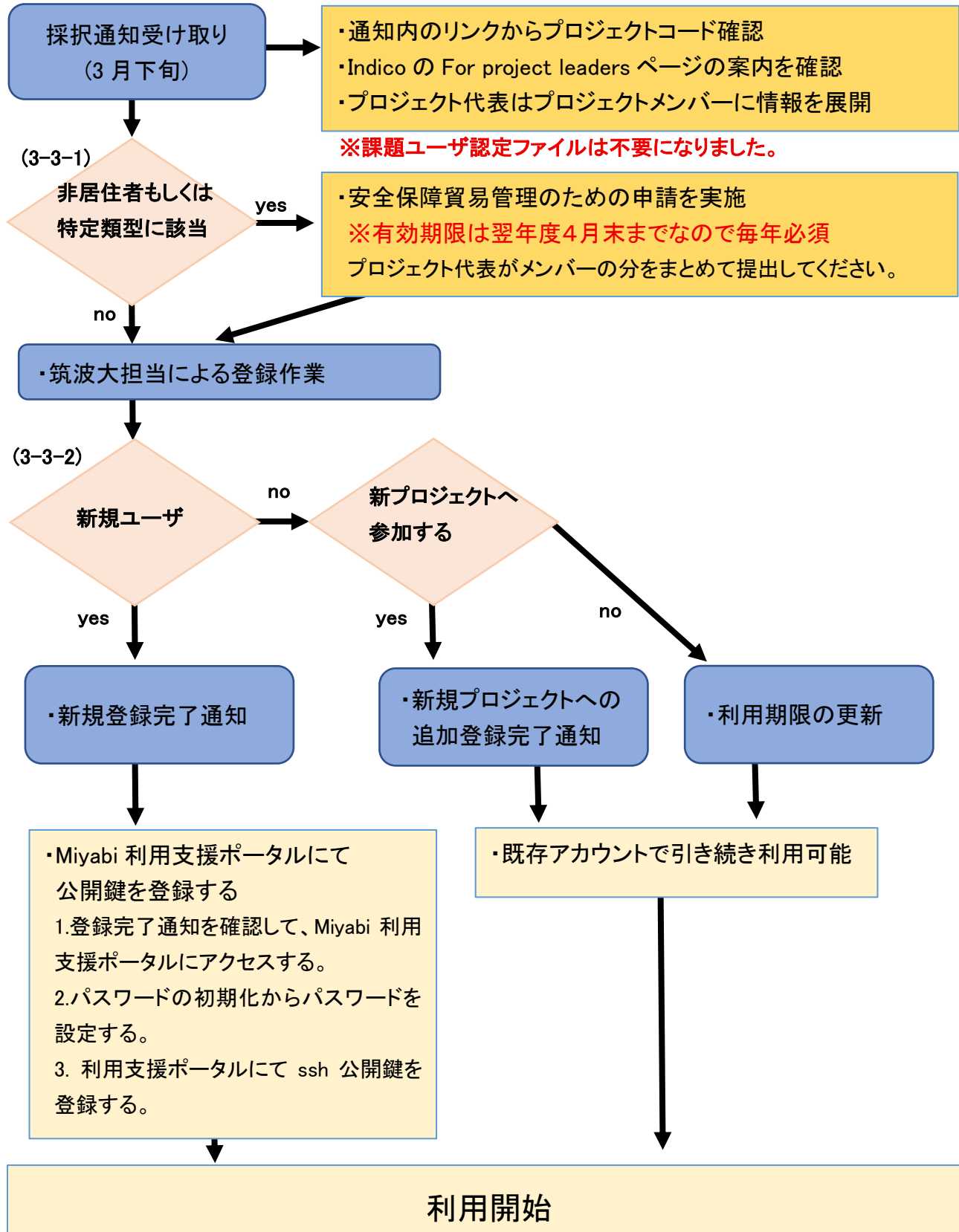




(3-3)

最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)システム登録の流れ

(Miyabi-G システム、Miyabi-C システム)



目次

表紙

全フローチャート

参考 1: 公募開始から採択までのフローチャート

参考 2: CCS-SC システムアカウント登録の流れフローチャート

参考 3: 最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)システム登録の流れフローチャート

※フローチャート内の番号(例:(2-1)、(3-2-3))は、本文の該当項番号に対応しています。

目次

1. はじめに
2. 公募開始から採択までの流れ
 - 2-1. 公募の開始
 - 2-2. 申請にあたりプロジェクト代表が行うこと
 - 2-3. 申請にあたりプロジェクトメンバーが行うこと
 - 2-4. 審査・採択通知
3. 利用開始までの流れ
 - 3-1. 概要
 - 3-2. 筑波大学計算科学研究センター独自システムの場合
 - 3-3. 最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)システムの場合

1. はじめに

この資料では、公募開始から採択されるまでの流れと、採択通知を受け取ってから各利用対象システムのアカウント登録が完了して利用開始できるようになるまでの流れについて説明します。公募資源や利用資格などについては公募案内をご参照ください。申請システムによる申請方法については申請手順マニュアルをご参照ください。採択後、システムへのログイン方法や2要素認証の設定方法、ジョブの流し方などの利用方法については各システムの利用の手引き等をご参照ください。

2. 公募開始から採択までの流れ

2-1. 公募の開始

例年 12 月下旬に学際共同利用(MCRP)の公募がはじまります。申請は学際共同利用申請システム(indico)によりオンラインで受け付けます。

2-2. 申請にあたりプロジェクト代表が行うこと

1. 学際共同利用申請システム(indico)のアカウント取得

indico のアカウントは1人1つです。2 つ以上取得しないでください。

次年度以降も有効です。過去に取得した場合はそれをご利用ください。

メールを受け取れることが申請の絶対条件です。アカウントのメールアドレスが無効になった場合には、My profile からメールアドレスを変更してください。

2. Pegasus/Sirius 希望者は筑波大学統一認証 ID(UTID-13)の取得

Miyabi のみを利用する場合は不要です。

UTID-13 は 1 人1つです。2 つ以上取得しないでください。

次年度以降も有効です。過去に取得した場合はそれをご利用ください。

申請方法はセンターホームページ内、学際共同利用「採択後の手続き」をご参照ください。

筑波大学構成員は筑波大学構成員用の UTID-13 を使用してください。

3. indico 上でプロジェクト申請

indico に掲載されている「オンライン申請手引」を参照して申請してください。

4. indico の Member registration から、自分自身をプロジェクトメンバーとして登録

プロジェクト代表も Member registration からメンバーとして登録されている必要があります。

5. プロジェクトメンバーへ申請 ID(受付番号)とメールアドレスを連絡

プロジェクトメンバーが Member registration をする際に必要になります。

6. 全プロジェクトメンバーの登録状況確認

2-3. 申請にあたりプロジェクトメンバーが行うこと

1. indico の Member registration から、プロジェクトメンバーとして登録

Member registration では indico のアカウントおよびログインは不要です。

参加するプロジェクトの申請 ID(受付番号)とプロジェクト代表のメールアドレスが必要です。

申請 ID とメールアドレスをプロジェクト代表に確認してください。

2-4. 審査・採択通知

例年 1 月下旬で公募は締め切られます。その後、2 月から 3 月中旬にかけて審査やバジェット割り当ての検討が行われ、3 月下旬に採択通知が送信されます。結果をお待ちください。

通知内のリンクから採択の成否、決定したプロジェクトコードやバジェットなどをご確認ください。なお、筑波大学システムでは**原則スパコンのアカウントは自動的には発行されません**。案内に従っていくつかの手順が必要となります。（継続ユーザの場合は非居住者などの特殊なケースを除き、引き続きそのまま利用可能です。）

3. 利用開始までの流れ

3-1. 概要

3月下旬の採択通知で採択が確認できましたら、申請システム内の「For project leaders」ページをご確認ください。筑波大独自システムと最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)のシステムのそれぞれの実際のシステム名で、各システムでのアカウント発行に必要な手続きの案内ファイル(PDF)が掲載されています。プロジェクト代表はこの案内の内容をプロジェクトメンバーに展開してください。採択通知が届いた時点から、それぞれの PDF に従って進めていただいて構いません。

筑波大学計算科学研究センター独自システムのアカウント発行までと、東京大学と共同運営する最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)のシステムのアカウント発行までとは手順が異なります。それぞれ別のスレッドとしてアカウント登録が進みます。

・筑波大学計算科学研究センター独自システム(CCS-SC システム)の場合

プロジェクトメンバー(プロジェクト代表も含む)が web フォームから必要事項を登録していくことでアカウント作成が開始されます。(継続ユーザでグループが変わらない場合は不要です。) web フォームにて必要事項を登録するためには事前に筑波大学統一認証 ID の取得も必要となります。

・最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)のシステムの場合

筑波大独自システムと異なり、スパコンアカウントが自動的に発行されます。アカウント名は機械的にふられ、自分でつけることはできません。継続の場合は前年度のものが引き継がれます。こちらのシステムのみ利用の場合、統一認証 ID の取得は不要です。

・非居住または特定類型に該当する場合

いずれのシステムの場合であっても非居住または特定類型該当者は安全保障貿易管理の手続きが必要となります。**安全保障貿易管理の手続きの有効期限は翌年度4月末までのため、毎年度手続きが必要**になります。

3-2. 筑波大学計算科学研究センター独自システムの場合

今年度は Pegasus システムと Sirius システムが対象となります。

計算科学研究センターが運用するスーパーコンピューターを総称して、CCS-SC システム (Center for Computational Sciences (CCS) Super Computer システム)と呼称します。これにはT2K 筑波など既に稼働終了している過去のシステムも含まれます。

CCS-SC 利用登録システムにて利用者のアカウント情報を管理することで、システムに依存せず、リプレイスされても利用者情報が引き継がれています。

3-2-1. 安全保障貿易管理のための申請(非居住者および特定類型該当者のみ)

スーパーコンピューターは、外国為替及び外国貿易法に定められる輸出規制・技術供与規制の対象であるため、安全保障貿易管理のための申請が必要です。採択が確定していない 2 年後、3 年後などを有効期限として申請することができないため、毎年度申請が必要となります。

申請方法は CCS のホームページをご覧ください。

<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/kyodoriyou/gakusai/saitakugo/>

3-2-2. 筑波大学統一認証 ID の取得(非保有者のみ)

筑波大学統一認証 ID とは1つのパスワードで筑波大学の複数のシステムを利用できるようにするための仕組みです。CCS-SC 利用登録システムも統一認証 ID と連携しています。

CCS-SC 利用登録システムでアカウント情報を登録するためには統一認証 ID の取得が必要です。統一認証 ID は各ユーザへ 1 意に割り当てられる ID として運用されています。

申請方法は CCS のホームページをご覧ください。

<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/kyodoriyou/gakusai/saitakugo/>

※1. 筑波大学構成員は構成員用統一認証 ID を保有しているため新規の取得不要です。

※2. CCS が発行する 007 で始まる統一認証 ID は、保有者から不要の連絡がない限り失効しません。過去に取得したことがあれば翌年度以降も有効です。過去に取得した ID やパスワードを失念した場合はお問い合わせください。

学際共同利用担当窓口: project-register@ccs.tsukuba.ac.jp

3-2-3. CCS-SC システム 利用者登録システムでの登録

CCS-SC システム 利用者登録システムでの登録が完了するとアカウントが作成されます。過去の CCS-SC システムを含めて共通のデータベースのため、以前登録したことがあれば省略できる手続きがあります。詳細は CCS-SC システム 利用者登録システムに記載されていることを確認しながら手続きを行ってください。

CCS-SC システム 利用者登録システム

<https://cert.ccs.tsukuba.ac.jp/account/cgi/ccs-sc-regist.cgi>

(1). 第一段階登録(初めて CCS-SC システムを利用するユーザ)

CCS-SC アカウント名の決定を行います。今まで1度も CCS-SC システム利用者登録システムへ登録したことが無い方(第一段階登録をしたことが無い方)が対象です。なお第一段階登録を実行した後、アカウント名と統一認証 ID が紐づけされるまで一晩かかります。CCS-SC アカウント名が決定したら、翌日そのアカウント名を課題代表に伝えてください。

継続ユーザおよび過去にいずれかの CCS-SC システムを利用したことがあるユーザの場合、過去に第一段階登録を行っているため再度の登録はできません。その場合は登録済みの CCS-SC アカウント名を利用することになります。過去に利用したけれど前年度からの継続ユーザでないという場合は、以前登録した CCS-SC アカウント名と SSH 公開鍵を CCS-SC システムアカウント担当へ連絡し、登録を依頼してください。また、そのアカウント名をプロジェクト代表に連絡してプロジェクトへの追加を依頼してください。

継続ユーザで現在と異なるプロジェクトへ新たに加わる場合もプロジェクト代表にプロジェクトへの追加を依頼してください。

なお、過去に登録した時と統一認証 ID が変わっている場合は、その旨と現在の統一認証 ID を CCS-SC システムアカウント担当までご連絡ください。

CCS-SC システムアカウント担当: ccs-sc-register@ccs.tsukuba.ac.jp

(2). プロジェクト代表ユーザによる、プロジェクト所属ユーザの登録

プロジェクト代表(課題代表)はプロジェクトメンバーから伝えられた CCS-SC アカウント名を自分のプロジェクトに追加してください。追加されていない場合、次の第二段階登録に進むことができません。

プロジェクトメンバーが第一段階登録を行ったときの他、**プロジェクトメンバーに変更があった場合は適宜 CCS-SC システム 利用者登録システムにてプロジェクトメンバーの追加や削除を行ってください。ここでの登録情報をもとにアカウントの作成や削除が行われます。**今年度はプ

プロジェクトから外れたメンバーを削除していない場合、そのままそのユーザが使い続けることができます。**また、新規メンバーが採択されてもここで追加登録されるまでシステム上に反映されません。**ご注意ください。

(3). 第二段階登録(初めて CCS-SC システムを利用するユーザ)

第一段階登録を行い 1 晩経過していること、かつプロジェクト代表によりプロジェクトへの追加登録が行われた後に実行することができます。氏名や所属機関などの情報を登録いただきます。継続ユーザなど過去に第二段階登録をしたことがあれば不要です。ただし、過去に登録した時と所属や連絡先が変わっている場合は、その旨と現在の所属などを CCS-SC システムアカウント担当までご連絡ください。

CCS-SC システムアカウント担当: ccs-sc-register@ccs.tsukuba.ac.jp

(4). CCS-SC システムアカウント担当からの最終確認

(3)までの手続きが完了すると CCS-SC システムアカウント担当から、「登録いただいた公開鍵のパスフレーズの有無」「特定類型に該当していないかの最終確認」の問い合わせがあります。こちらに回答いただくとシステムへの最終登録が行われます。CCS-SC システムアカウント担当からのアカウント登録完了通知をお待ちください。

3-3. 最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)システムの場合

今年度は Miyabi システムが対象となります。

筑波大独自システムと異なり、アカウント名は機械的にふられ、自分でつけることはできません。継続の場合は前年度のアカウントが引き継がれます。

こちらのシステムのみ利用の場合、統一認証 ID の取得は不要です。

昨年度まで提出いただいていた課題ユーザ認定ファイルは不要になりました。

3-3-1. 安全保障貿易管理のための申請(非居住者および特定類型該当者のみ)

スーパーコンピュータは、外国為替及び外国貿易法に定められる輸出規制・技術供与規制の対象であるため、安全保障貿易管理のための申請が必要です。採択が確定していない 2 年後、3 年後などを有効期限として申請することができないため、毎年度申請が必要となります。

申請方法は CCS のホームページをご覧ください。

<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/kyodoriyou/gakusai/saitakugo/>

3-3-2. Miyabi 利用支援ポータルと Miyabi 利用開始について

新規ユーザの場合、システムを利用するためには Miyabi 利用支援ポータルサイトにて SSH 公開鍵を登録する必要があります。新規アカウント登録完了メールにあるポータルサイトの URL からブラウザでアクセスし、「パスワード初期化」ボタンからポータルサイトのパスワードを設定してください。その後ポータルサイトから Miyabi システムのログインに必要な公開鍵をポータルサイトにアップロードしてください。

継続ユーザの場合、必要となる作業はありません。既存のアカウントで引き続き利用可能です。